

令和4年(2022年) 9月 5日

彦根市議会議員 赤井 康彦 様

紹介議員

安澤 勝子  
矢吹 安子  
上杉 正敏  
角井 英明  
黒澤 茂樹  
長崎 任男

交通弱者の移動手段確保のため彦根市福祉バス制度の復活を求める請願書

## 1 請願趣旨

超高齢社会の到来に伴い、高齢者の多くは今や交通弱者とされ、生きがいのためのスポーツや趣味の活動のみならず、日々の買い物においても、移動手段の確保が課題となる時代となりました。ご承知の通り、国や自治体が音頭をとり、高齢者の自動車運転免許証返納を促進する施策や、事故の恐れから家族以外の他人の同乗を拒む流れが加速する一方で、交通弱者である高齢者や障がいのある方移動手段を確保する手立ては無いに等しいのが現状です。

平成 27 年度の滋賀県における 65 歳以上の運転免許証の自主返納者数 2,861 人に対し、令和 3 年度は 5,198 人と大幅に増加しており、地方における高齢者の活躍や活動は年々狭められております。加えて、路線バスは必ずしも使い勝手が良いとはいええないことは、これまでから幾度となく彦根市議会でも議論されてきた課題であることはご承知のことと存じます。

健康寿命の延長が叫ばれる現代社会において、心身ともにリラックス出来る、文化スポーツの大会参加を困難にし、参加意思はあるけれど移動手段の問題で諦めておられる高齢者が多数おられ、私たちの団体も多くの参加者を動員するために知恵を絞っておりますが、公共における移動手段確保の問題は私たちだけで解決できるものではありません。

高齢者の会費を主たる財源とする団体にとっては交通費の補助は大変な重荷になり、もし会費からの充当の場合、運営に必要な経費さえも削減せざるを得ず、本来の活動が不可能になる恐れが出てきます。

こうした観点から私たちは、彦根市において平成 28 年度限りで廃止された「彦根市福祉バス」の復活を願うものであります。

市の財政状況などを鑑みると、復活は容易で無いことは重々承知しておりますが、受益者負担の増額や運行距離、エリアの見直しなど従来の制度を再構築した復活を私たちは願っております。

私たちの団体が会員向けに行ったアンケートによりますと、6割以上の方が移動手段の課題が緩和、解決された場合には、これまで以上に行事に参加したいとの意欲をお持ちになっておられます。

彦根市におかれましては、高齢者の健康増進活動と、文化に触れる機会の創出を増やすための環境整備の一環として、本請願趣旨の実現に向けての取組をお願い申し上げます。

## 2 請願事項

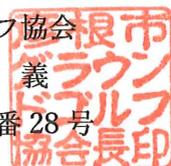
交通弱者の移動手段確保のため彦根市福祉バス制度の復活を求めます

請願者

代表 彦根市グラウンド・ゴルフ協会

会長 北村正義

彦根市中藪一丁目8番28号



彦根市老人クラブ連合会

会長 郷野征

彦根市平田町614番地の37



彦根市ゲートボール連盟

会長 田附善和

彦根市南三ツ谷町1817番地

